

平成16年度
気象庁予算案の概要

(単位:百万円)

区 分	前 年 度 額	概 算 決 定 額	差 引 増 △ 減 額	備 考
一 般 会 計	62,389	61,373	△ 1,016	
(内 訳)				
物 件 費	22,806	22,742	△ 64	
主 要 事 項	4,425	4,425	0	
一 般 事 項	18,381	18,317	△ 64	
人 件 費	39,583	38,631	△ 952	
特 別 会 計				
空 港 整 備 特 別 会 計	10,386	10,544	158	
合 計	72,775	71,918	△ 858	

(注)端数処理のため計算が合わない場合がある。

主要事項の概要

1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化

国民の安全と安心のための防災気象情報の高度化のため、土砂災害警戒情報作成システム、高性能数値予報モデル用スーパーコンピュータ及び次世代気象情報通信網の整備を行う。また、次期静止気象衛星(運輸多目的衛星新2号)の整備を行う。

2. 地震対策の強化

東海・東南海・南海等海溝型地震の監視体制を強化するため、東海地震の予測精度の向上及び東南海・南海地震の地震発生準備過程の研究を行うとともに、ケーブル式海底地震計及びナウキャスト地震計の整備を行う。また、関係機関震度データを収集するための受信装置及び北西太平洋津波監視のためのシステムの整備を行う。

3. 気候変動・地球環境対策の強化

地球温暖化などの気候変動・地球環境問題に対応するため、都市域におけるヒートアイランド解析システムの構築及び有害紫外線予測情報を提供するための観測装置の整備を行う。また、地球温暖化予測技術の高度化を推進する。

注) 次頁以下の(債)は国庫債務負担行為を示す。
次頁の前年度予算の大項目の額は、前年度限りの額を含む。

(前年度予算)

百万円 百万円

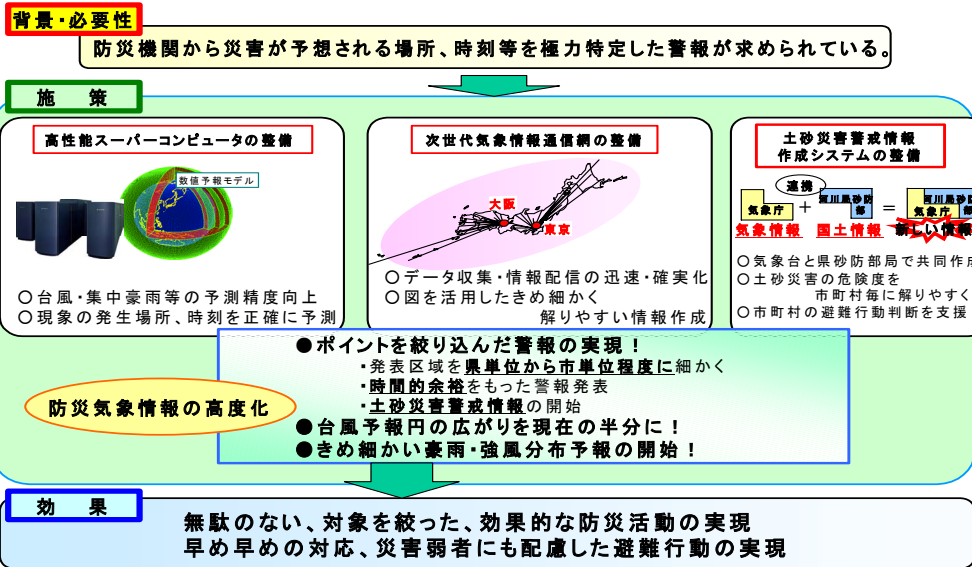
債 420 3,957 (3,881)

債 420 236 (560)

1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化

- (1) 国民の安全と安心のための防災気象情報の高度化
 - 土砂災害警戒情報作成システムの整備、高性能数値予報モデル用スーパーコンピュータの整備、次世代気象情報通信網の整備

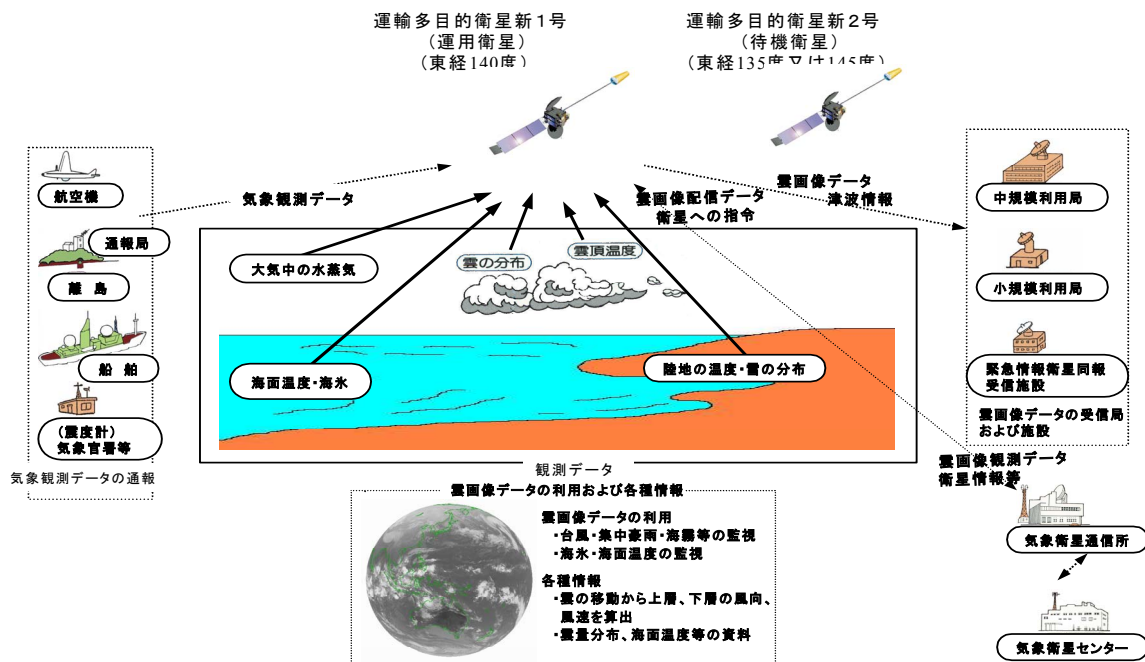
国民の安全と安心のための防災気象情報の高度化



- (2) 静止気象衛星（運輸多目的衛星新2号）の整備

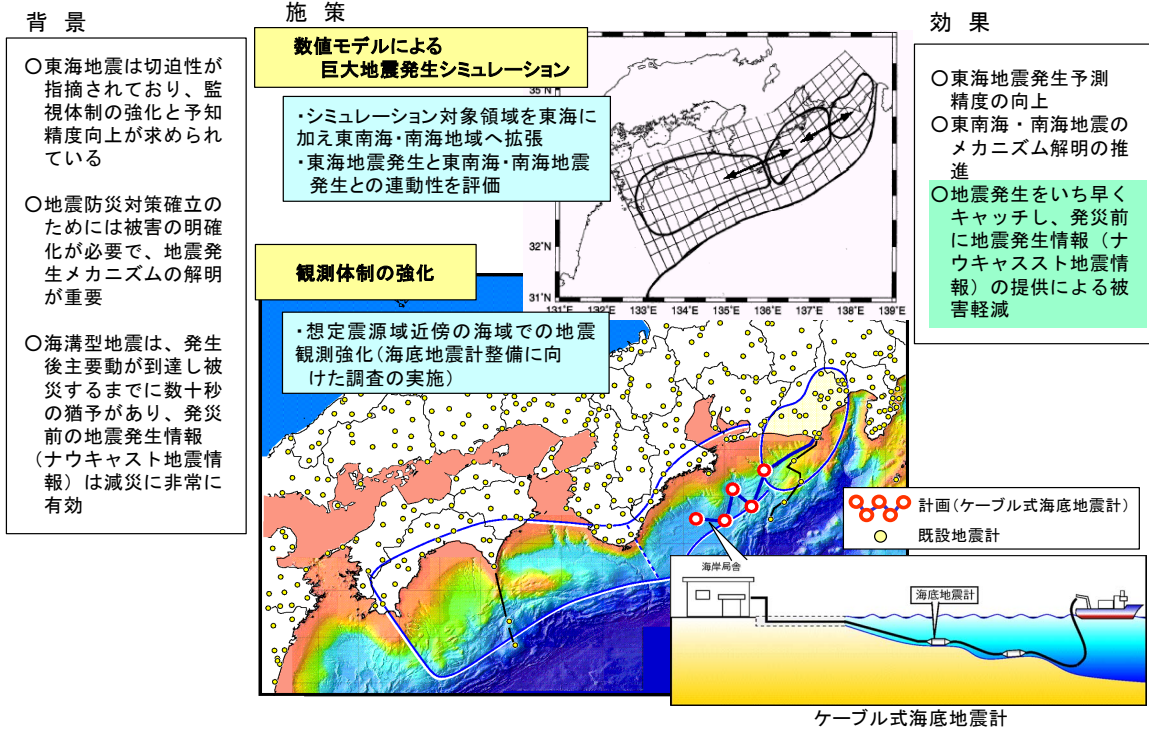
3,721 (2,306)

静止気象衛星（運輸多目的衛星新2号）の整備

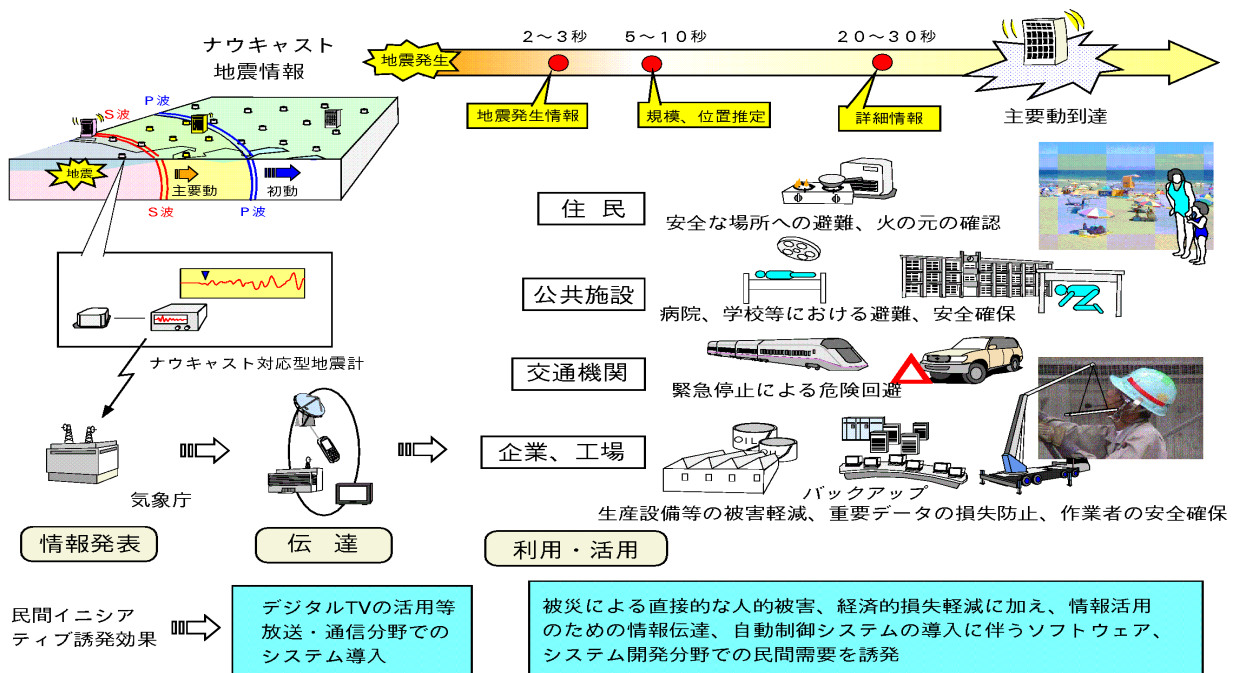


- (1) 東海・東南海・南海地震等海溝型地震の監視体制の強化 259 (148)
 東海地震の予測精度向上及び東南海・南海地震の発生準備過程の研究、
 ケーブル式海底地震計の整備、ナウキャスト地震計の整備

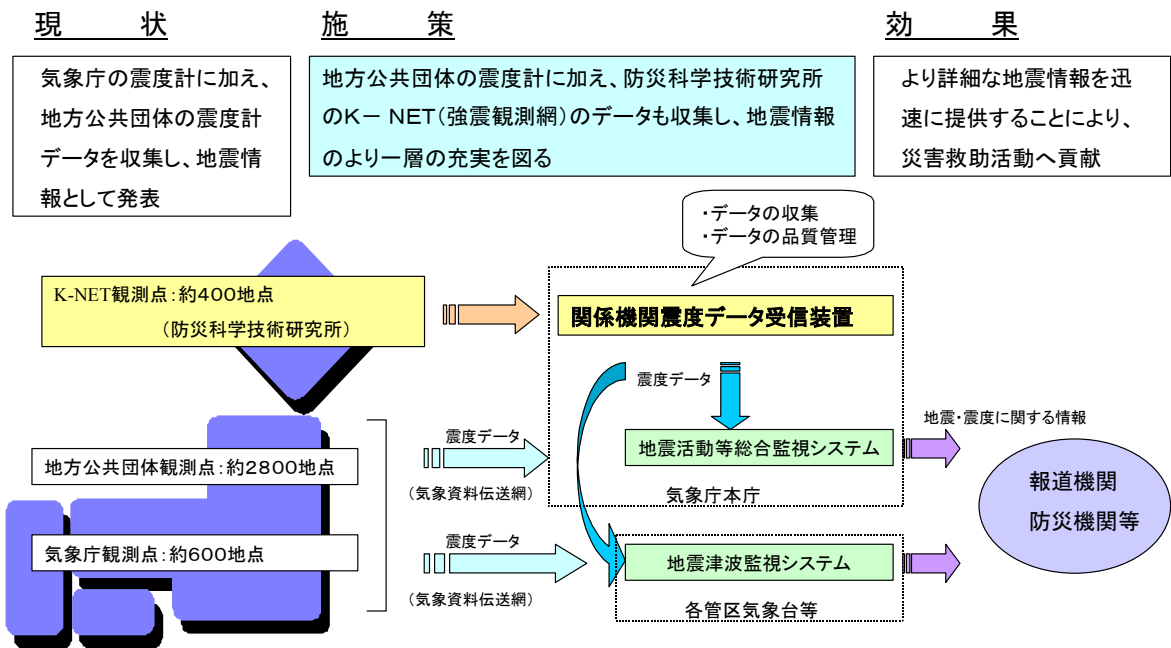
東海・東南海・南海地震等海溝型地震の監視体制の強化



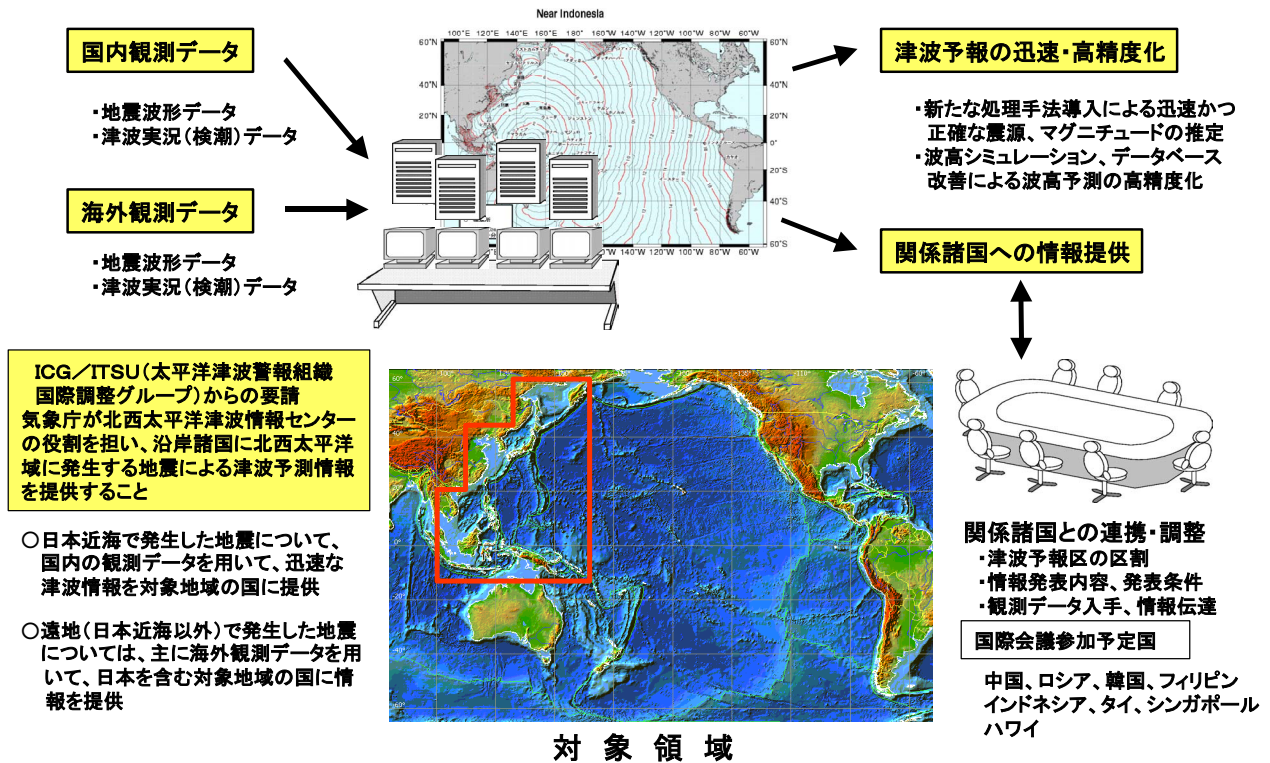
ナウキャスト地震計の整備



関係機関震度データ受信装置の整備



北西太平洋津波監視システムの整備

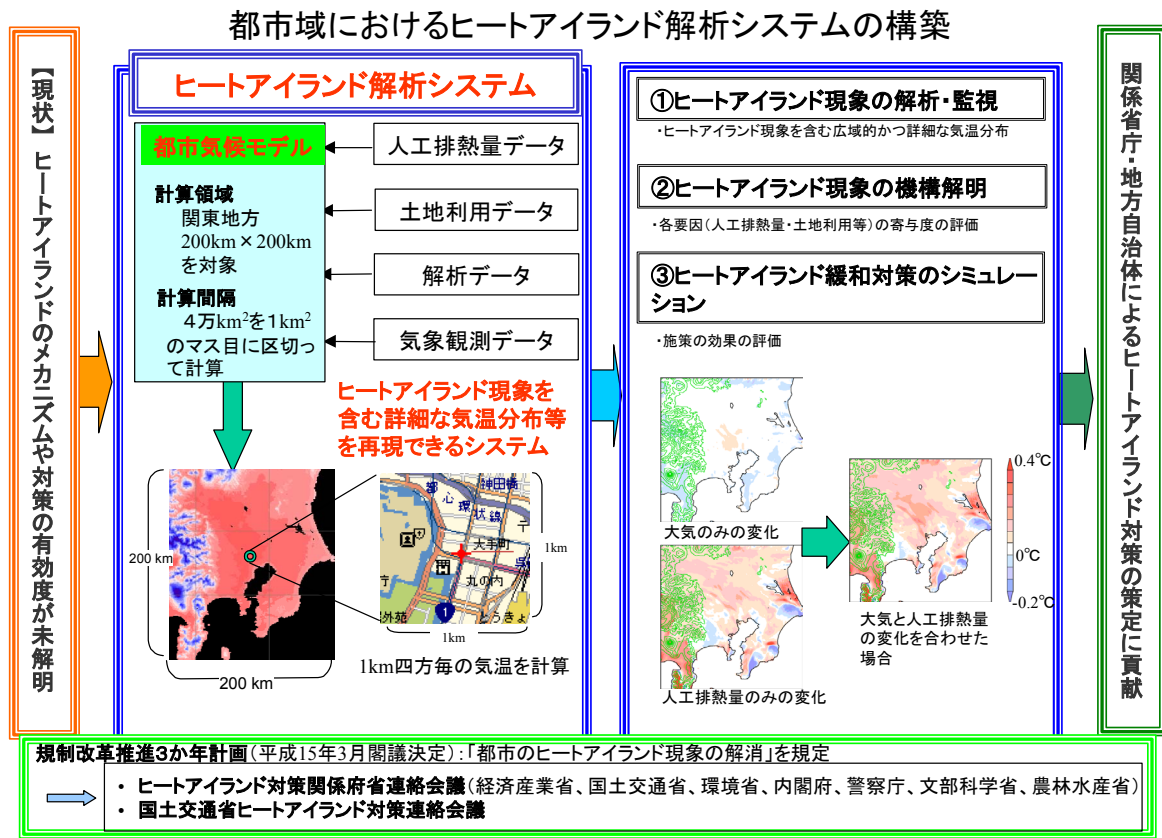


3. 気候変動・地球環境対策の強化

152 (128)

(1) 都市域におけるヒートアイランド解析システムの構築

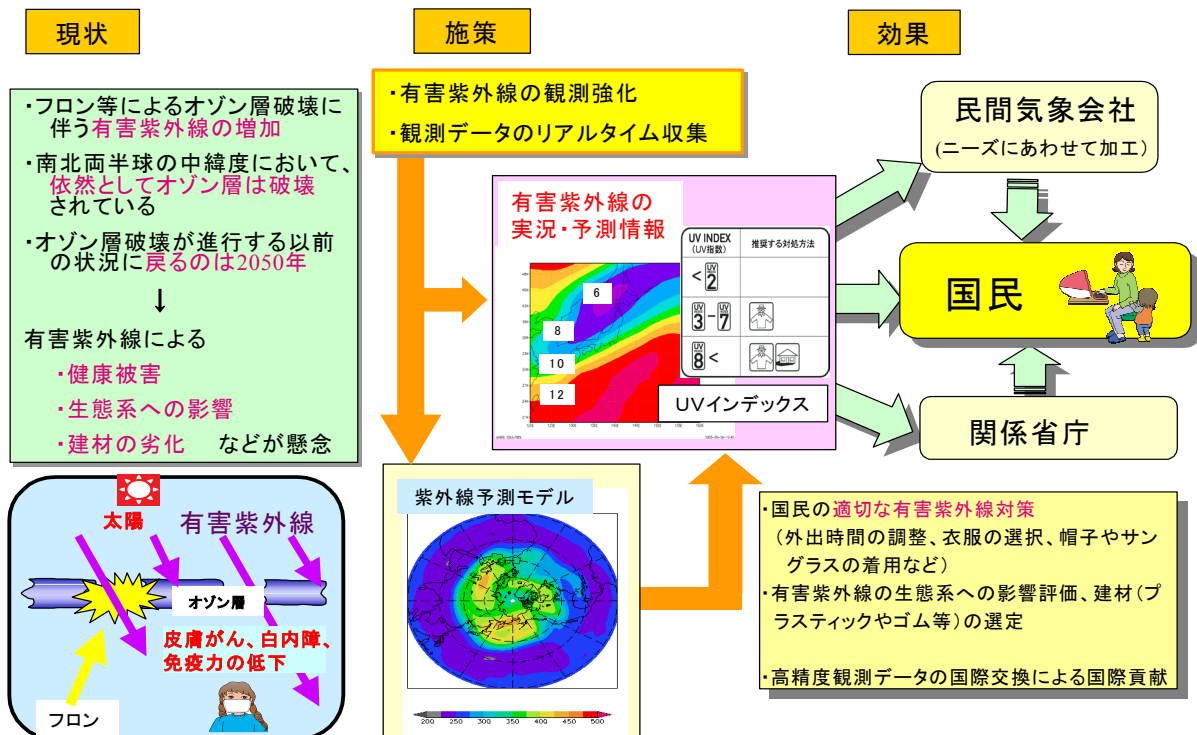
17 (0)



(2) 有害紫外線予測情報の提供

107 (0)

有害紫外線予測情報の提供

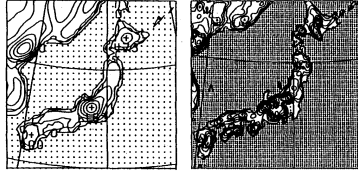


地球温暖化による我が国の気候変化予測に関する研究

○ 地域気候モデルの高度化

領域大気モデルを高分解能化、太平洋海洋モデルを改良して両モデルを結合し、高分解能(20km)の**地域気候モデル**を開発
本モデルを用いて日本付近の温暖化による地域的な気候変化予測を研究

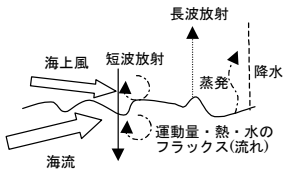
【地域気候モデル】



【大気モデル】

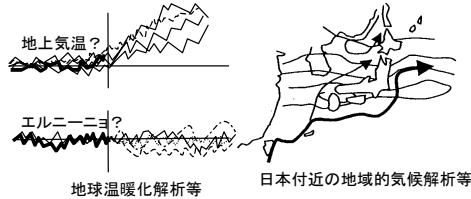
結合

【太平洋海洋モデル】



○ 地球温暖化予測のためのモデル検証と温暖化メカニズムの解明

地上、衛星、レーダー、客観解析等各種観測データを整備し、地域気候モデル、全球気候モデルの各種パラメータ、大気・海洋結合過程等について調べ、モデルを改良
気候モデルの予測結果に基づき、地球温暖化の検出や原因の特定、日本付近の気候変化等を解析

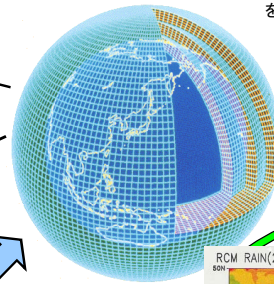


地球温暖化解析等

日本付近の地域的気候解析等

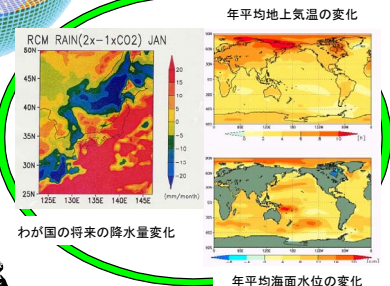
○ 全球気候モデルによる地球温暖化予測の高度化

モデルの物理過程、各種パラメータの改良等高度化を図り、パラメータ依存性や自然変動との関連性等について数値実験を行い、全球の温暖化予測を研究



【全球気候モデルの高精度化】

ネスティング
(地域気候モデルを実行させるため、全球気候モデルから初期値を与えること)



わが国の将来の降水量変化

○ 気象庁において地球温暖化予測情報等に活用され、農林水産業、水資源・水環境等の温暖化対策の策定に寄与
○ 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)等の国際機関に科学的知見を提供